

第 134 回 岩手小動物臨床研究会(IVC)のご案内

すっかり秋らしくなり不出来だったキノコもたくさん店頭にならぶようになりました。もう、松茸は、召し上がりましたか？

さて10月の IVC ですが、最終金曜日に東大の大野先生がみえられて獣医師会の講習会がありますので、曜日を変更して25日月曜日に行うことになりました。今回は、岩手大学の外科と内科から1題ずつの話題提供を予定しています。テーマは、環軸亜脱臼と免疫介在性皮膚炎です。皆様の中で、同じような症例やお困りの症例がありましたら、どうぞお持ちより下さい。たくさんの皆様のご参加を、お待ちしております。

—記—

日時 : 10月 25日(金) 午後7時30分より9時
場所 : 岩手大学 農学部 1号館2階 会議室

1. 話題 : 「外傷性環軸亜脱臼を呈した犬に腹側固定を実施した1例」
演者 : 岩手大学小動物外科学研究室 片山 泰章 先生
2. 話題 : 「免疫介在性皮膚炎に長期間アザチオプリン投与を行い間質性肺炎症状のみられた犬の1例」
演者 : 岩手大学小動物内科学研究室 小林 沙織 先生



第134回岩手小動物臨床研究会 (IVC)のご案内



日時 : 10月25日(月)
午後7時30分から9時

場所 : 岩手大学農学部 1号館2階 会議室

話題 1 : 「外傷性環軸亜脱臼を呈した犬に
腹側固定を実施した1例」

講師 : 岩手大学小動物外科学教室
片山 泰章 先生

話題 2 : 「免疫介在性皮膚炎に長期間アザチオプリン
投与を行い間質性肺炎症状のみられた
犬の1例」

講師 : 岩手大学小動物内科学教室
小林 沙織 先生

＜学生さんの参加自由です。どうぞ、
聞きに来てください。＞